

# 『日本縦断への想い』

今回の日本縦断走り旅を企画・主催に  
下さった森塚さんの不思議な繋りが全て  
であり、去年の東北大震災被災地から(宮城県  
大崎市)唯一参加した武田先輩と秋住選手250km  
のスタートを待つ間に始まったのだ。

我々は武田先輩の親族、友人、勤労先の銀行で  
数人の尊い生命が奪われ追悼と鎮魂を  
込め、何んとしても、先頭でスタートを切りたいのだ。  
これが幸い。スタートの後方には居るのでは  
森塚さんから声を掛け頂けたのだ。はっ  
としかと思う。声を掛けられた理由が、私の所属  
青春時代の親友N君と、森塚さんが大学時  
より親友の事。そこから物語がスタート。  
九州、東北縦断と海外の世界を知り、散々  
だったのだ。

2度の試走会に参加、愉快な仲間が、一緒に走り  
走破できる街道。毎回読みが未熟で、  
コース外も色々あるが、今振り返れば、  
それも又、楽しい思い出。

日本縦断の想いは「一体何回位、コース外  
するのだろうか...不安もあるが、7999感も大きい  
仲間と一緒にア外に走ると一層連帯が  
生まれ、誤りが共有でき、より親近感が深まる。

初めて走る街道、海山河、初めて出会う人々、  
初めての気候、凡土……。凡が運が花也、木の  
薫り、山野草の可憐な姿、全てが愛しい思ふ。  
何百年前の先人達から往來してある街道を  
再び超えて走るとなんとも素晴らしい！

今回仙台→大沼エトワ-2がありすが、都合が  
付けない全工程に(お許しを)浅くして  
気分。

2012. 9. 15 小池 修